

2026年3月期の目標と実績 ~リサイクル及び資源回収~

マテリアリティ	リサイクル及び資源回収		
ガバナンス	行政管理部において管轄 取締役会にて監督		
戦略	<p>【自治体向けのリサイクルサービス】</p> <p>〈リスク〉不燃ごみの再資源化事業を停止した場合の埋立地の残余容量不足による東京23区全体の廃棄物処理の停滞リスク</p> <p>〈機会〉23区最後の埋立地である中央防波堤埋立処分場の延命策であるため、ビジネスチャンスの拡大</p> <p>〈対策〉施設の新設、作業工程の改善等による処理能力の拡大</p>	<p>【事業者向けのリサイクルサービス】</p> <p>〈リスク〉売却先が求める品質を満たせない場合の売却不可、廃棄物処理コストの増加、顧客流出等のリスク</p> <p>〈機会〉リサイクル技術の進展に伴うビジネスチャンス拡大</p> <p>〈対策〉施設の新設、作業工程の改善等による処理能力の拡大</p>	<p>【電子機器廃棄物から取り出したマテリアルの量】</p> <p>〈リスク〉電子機器廃棄物に残存していたリチウム電池が原因による火災等により、貴重な金属類がリサイクル先に搬出されないリスク</p> <p>〈機会〉安定した処理フローの維持に伴い信頼性向上によるビジネスチャンス拡大</p> <p>〈対策〉施設の新設、作業工程の改善等による処理能力の拡大</p>
リスク管理	行政管理部管轄項目として、毎月の総合経営幹部会にて状況報告		
指標	不燃ごみの再資源化率	飲料容器類の再資源化率	電子機器廃棄物から取り出したマテリアルの量
目標	90% ※プラ新法の推進を含め、プラリサイクルのマテリアル・ケミカルに取組む	60% ※廃プラスチック類の混入比率減少に取組む	昨年度の年間取扱量を上回る
2026.3期の実績	達成 いずれの自治体向けも目標90%を上回った	再資源化率96%で目標達成	達成